

2024年度

幼保連携型認定こども園 YMCA保育園・おひさま分園 学校評価会

日時：2025年1月18日（土） 10:30～11:40

場所：幼保連携型認定こども園 YMCA保育園 2階保育室

出席者（保護者）：4名（職員）：園長 主幹保育教諭 2名

※第三者委員よる抽出により当該園のクラスの保護者を選出

※保育理念、保育計画の説明と共に、1年間等の振り返りと意見交換を下段のように行った。

- ・「遊んでばかりの保育園」の名のとおり、子どもの遊びが如何に大切かが、兄弟姉妹が小学校に進学しているが、よく理解できる。
- ・コロナ禍後に行事の方法が変更になったが、違和感なく新しい方式にも満足している。 <例 クリスマス会のクラス分離方式>
- ・子どもの変化もさることながら、保護者の変化にも気づいて、話しかけてくれるコミュニケーションはとても嬉しい。
- ・写真の販売が、ICT化されたが、0～2歳児は個人の写真もたくさんあるが、3～5歳児が集合写真が多いのが残念
- ・園舎の外灯が、消えている時がある。子ども達の安全のために、先生方も忙しいかと思しますので、自動点灯する機器を設置してはどうか。
- ・特に冬の季節の着衣について、一日の気温差や運動における体温差があるが、特に乳児についての配慮が必要。
- ・乳児における「行事」が感染症の流行期である真冬のため、数が多くない行事数のため、欠席しないかの不安もある。（季節の良い時などの）別行事を検討できないであろうか。
- ・ 近隣の駐車場の使用について、駐車値段や駐車スペース等の課題がある。
- ・先生方との話は、毎日話す機会があり、乳児から3歳児になって、説明会では発達と共に先生と保護者との対話も減る？かと思いましたが、違和感なくコミュニケーションがとれている。

2024年度

幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園 学校評価会

日 時：2025年2月8日(土) 9時～10時

場 所：幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園

出席者：在園保護者3名（第三者委員選出）、園長および主幹保育教諭2名

1. 挨拶・主旨説明 (園長)

2. 学校評価

1) 園の願い（理念・使命）説明 (主幹保育教諭)

保育計画に基づく、保育の実施の1年他を振り返り下段のように意見交換した

2) 意見交換

- ・保育園での生活や教育で、家でもやってみようとする行動が嬉しい。食事に関しても家でも、なんでも食べられるようになっている。園に育ててもらっているという感覚で本当にありがたい。
- ・地震、火事、不審者等の様々な想定避難訓練があるが、予告なく実施する訓練が怖い。→様々な想定で月1回実施し、自分の身を守ることを大切に訓練をしているが、不安を与えないように配慮します。
- ・乳幼児の2階用の靴の準備が2足になるために少々負担を感じる。
- ・クッキングのエプロンがスモック型か普通のエプロンかどちらがいいのか、指定されたものがあると良い。
- ・初めての保育園入園の場合に、持ち物の許容範囲や、送迎時間の幅がわかると安心する
- ・コロナ禍でも、保育者がマスクなしで、表情が見える関わりを嬉しく感じた。
- ・夕食も園で作ってくれたら嬉しい。レシピも知りたい。園で覚えた歌をよく歌ったり、聞きたいと言われたりするが、ネットで探すが見つからないため、歌っている歌のタイトル等を紹介をしてもらえると嬉しい。
- ・お手紙の配付やアプリと貼り出しでしているが、このまま両方あると有難い。
- ・保育のねらいをもって1カ月の保育記録をクラスだよりで毎月配信しているが、子ども達の成長の報告はとても嬉しいが、先生達の負担にならないペースでしてもらいたい。
- ・保育園の様子公表（ブログ等）は、アプリにURLを貼るなどされるともっと見やすくなるかもしれない。

2024年度

幼保連携型認定こども園 神戸学園都市 YMCA こども園 学校評価会

日 時：2025年3月4日（火）16：00～17：00

場 所：幼保連携型認定こども園 神戸学園都市YMCAこども園 2階

出席者：在園児保護者：4名 職員：園長、主幹保育教諭2名

1. 挨拶・主旨説明 （園長）
2. 出席者紹介
3. 学校評価
 - 1) 園の願い（理念や使命）説明 （主幹保育教諭）
 - 2) 意見交換

保護者の方より

*保育の様子について

- ・入園式から子どもの名前を覚えてくれていたので、安心できた。
- ・役所から勧められたYMCAだったが、入園して本当によかったと思っている。閉鎖的ではなく、交流やふれ合える場が多く、子どもたちの園の様子がわかって安心できる。食事本当に美味しそうで、毎日完食と記入してあるのが嬉しい。保護者交流会で食べたおやつを家で作ると大好評だった。保護者も食べれる機会があって嬉しい。
- ・姉が通っていた幼稚園とは違い、のびのびと子どもたちが過ごしているのが良い。あそびが教育ということの良さをYMCAに通って感じた。
- ・スタジオアリスの写真やブログから日常の様子を知ることができるのがよい。ブログは『はいチーズ!』のお知らせメールにリンクを張り付けてくれると、見る機会がもっと増える。
- ・乳児クラスは、2月の保護者懇談会で初めて会う保護者の方もいて、もう少し早い時期にできたらいいと思った。行事ではなく、日常の中で参加しやすい企画をしてはどうか。
- ・幼児クラスになると、先生と話す機会がすごく減り、最初はすごく不安だったが、子どもの姿や他の保護者との話などを通して、いつまでも必要なことではなく、子どもが自立していくうえで、それで良かったと今は思っている。

*異年齢保育について

- ・入園前は年齢別が良いと思っていたが、3年間異年齢で過ごす子どもをみて、すごく成長を感じ、異年齢の良さを知ることができた。
- ・バディとの関係で親が悩むことはなかったが、子どもなりにやり取りする様子を聞いたり見たりして、良い体験も、嫌な体験も子どもの育つ機会なんだと思った。

*その他

- ・防犯面では、いつでも園に入れる環境が心配。オートロックをかける時間を決めてはどうか。特に土曜保育は職員も少ないので。警官立寄所のステッカーなどを貼るだけでも、防犯対策になるのではないかと。
- ・園のトレーナーや購入した布団など、思い出があって捨てにくい。園側の負担は最小限にして、必要な方に譲るシステムが出来たらいいのではないかと。